政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 國部毅：株式会社三井住友銀行頭取

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		良くなっている	わが国経済は、増税後の反動減のほか天候不順の影響もあり、足許弱めの動きが見られるが、企業業績の改善が投資や賃金の増加に繋がる好循環メカニズムが着実に働き始めており、基調として景気回復の動きが続いている。 例えば、今年度の大企業の設備投資計画（9月日銀短観）は、前年比プラスかつ、6月比上方修正。銀行による設備投資向け貸出残高も8月は前年同月比+3%とプラス圏で推移。 また、所得・雇用環境の改善も進んでおり、有効求人倍率が昨年11月以降1倍を超えるなか、現金給与総額は前年同月比1.4%増加し、所定内給与も前年比プラス圏に浮上。 一方サービス業を中心に、人手不足による業績への影響を指摘する声あり。
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	―	前月との比較では、円安進行が大きな変化。国内の供給に占める輸入の割合が高まるなか、行き過ぎた円安の進行は、エネルギー関連に限らず様々な面でコストアップ要因となり、家計や中小企業に悪影響を及ぼす惧れあり。 一方、輸出企業やグローバル企業の円建収益の増加や株価の上昇、それに伴う資産効果といった効果が期待される。 こうした円安によるプラス効果を、政労使会議等の枠組みを活用し、賃金の上昇等に繋げることによって、経済の好循環メカニズムを更に強化していくことが重要。
経済再生と両立する財政健全化		―	財政再建は経済再生と両輪で行うべき課題。 予定されている消費税率引上げは、財政健全化に向けて不可欠。但し、増税が景気腰折れに繋がらないよう、防災・減災、老朽化対策等の必要な分野に絞った公共工事や増税による痛みを緩和するための低・中所得者対策等、経済対策を講じ、万全を期すことが肝要。 一方、経済成長による税収増に伴い、無駄な歳出が膨らむことのないよう、社会保障分野も含め聖域なく政策効果を検証し、スクラップ・アンド・ビルドを予断無く続けていくことも重要。 また、民間のノウハウを活かすPPP/PFIや予算措置が不要な規制緩和といった施策は、経済再生と財政健全化の両立に向けて有効な手段。
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。		

政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2014年９月24日～10月６日） 國部毅：株式会社三井住友銀行頭取

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
３－１	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	意欲ある女性の労働参加を促し、女性の能力を一層活用していくという観点から見れば、税制や社会保障制度等を見直すことは有用であり、労働力の担い手の確保、経済の活性化にも繋がると考える。 一方、子育てや介護等により、長時間労働が難しい人が多く存在するのも事実であり、制度の見直しが、単なる負担増に終始することのないよう、子育て支援的な給付、保育所や介護施設の整備等の施策を併せて実施することで、「子育てや介護」と「労働」とを安心して両立出来る環境を作っていくことが肝要。
３－２	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	女性の活躍推進に向けて、制度面の見直しが必要であることは論を俟たないが、背景にある人々の意識や職場慣行等を変えることも必要ではないか。 当行では、2005年から女性活躍の推進組織を立上げ、育児休業の拡充や研修の充実等、仕事・育児の両立支援制度の整備を進める一方、女性活躍の阻害要因となる長時間労働の是正や男性管理職の意識改革を促すべく、ソフト面の取組にも着手。 具体的には、在宅勤務の試行や一層の業務効率化を検討しているほか、9割を占める男性管理職に対する研修・セミナーを部門毎の課題に応じてきめ細かく実施。 今春からダイバーシティ委員会を立上げ、議論を加速させている。